

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課  
担当課長名：東 智徳

<b>事業名</b>	さくらぎひがしとつか なせ 桜木東戸塚線（名瀬地区）	<b>事業区分</b>	街路	<b>事業主体</b>	横浜市
<b>起終点</b>	自：横浜市戸塚区名瀬町 至：横浜市戸塚区名瀬町	<b>延長</b>	0.3 km		
<b>事業概要</b> 本路線は、本市都心部から放射状に伸びる幹線道路です。本地区の整備により、周辺住宅地域及び泉区方面からJR東戸塚駅、環状2号線への連絡強化を図るとともに、周辺地域交通の円滑化と都市機能の向上を図ります。					
H6年度事業化		S41年度都市計画決定 (H1年度変更)		H7年度用地着手	
				H9年度工事着手	
<b>全体事業費</b>		23億円		<b>事業進捗率</b>	
				83%	
<b>計画交通量</b>		35,000台/日			
<b>費用便益分析結果</b>		<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) /25億円		<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) /169億円	
B/C (事業全体) 6.7 (残事業)		事業費： /24.9億円 維持管理費： / 0.2億円		基準年： 平成15年 走行時間短縮便益： /162.1億円 走行費用減少便益： / 0.2億円 交通事故減少便益： / 6.7億円	
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する） ・国土・地域（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる）等					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 事業継続並びに整備の促進を要望します。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 市営地下鉄線、相鉄いずみ野線の湘南台駅乗り入れ（H11.8）により、本市西部地域の街並みは大きく変わりつつあり、交通利便性向上のため、早期の整備が望まれています。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成14年度までに約99%の用地を取得しており、残りの工事については、平行する名瀬川の改修工事や接続する権太坂和泉線工事と調整しながら順次進めていきます。					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 権太坂和泉線との接続が必要となるため、工事の調整を図りながら、平成18年度末に完成の予定です。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 特になし					
<b>対応方針</b>		事業継続			
<b>対応方針決定の理由</b> 本路線は、3環状10放射道路に指定されている環状2号線と権太坂和泉線とを結ぶ重要な路線であり、早期の事業完了を図る必要性は変わっておりません。					
<b>事業概要図</b>					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。